

さがみはら介護支援専門員の会 会報

法人化に伴い調整中です。ご迷惑をおかけして大変申し訳ございません。

臨時連絡先：居宅介護支援事業所コルク TEL・042-707-2333



さがみはら介護支援専門員の会代表メンバーにて、
令和6年度も本村市長へ「ケアマネジャー処遇改善のための要望書」
を提出致しました。

この要望書はケアマネジャーへのアンケート結果を基に取りまとめたものです。ケアマネジャーの現状を市長及び関係部署の皆さんへ直接伝えさせていただきました。

[「ケアマネジャー処遇改善のための要望について」](#) 



そして、その要望に対して相模原市より
回答をいただきました。

当会と致しましては、市内唯一の職能
団体としてこれからも行政に働きかけて
いく所存ですので、今後もアンケートな
どのご協力をよろしくお願いいたします。



令和6年度 各委員会活動報告

医療介護連携委員会

(◎内山・植田・渡部/事務局担当：黒沢・土田・竹下)

本年度は、10回の現任研修、同じテーマでオンライン・集合開催を試みた多職種連携研修を企画し、相模原市医師会と連携して医療・介護連携推進事業研修会を開催しました。



R6.11.12 相模原市医療・介護連携研修会 オンライン開催



R7.2.13 相模原市医療・介護連携研修会 ウェルネスさがみはらA館7階視聴覚室にて開催

医療知識、制度、連携先、様々な社会的問題の背景への不安が少しでも払拭され、より良い支援につながるができるように、皆様のご意見やご希望を伺いながら今後も研修を企画していきたいと思ひます。

2020年以降開催することができなかつた集合研修も、顔の見える関係づくりができるように今後も検討していければと考えています。来年度も皆様のご参加を委員一同お待ちしております。



制度改正・処遇改善委員会

(◎樋山・日高・田中・柳下・鍛代／事務局担当：竹下)

今年度は、昨年に引き続き「ケアマネジャー処遇改善のためのアンケート」を実施しました。前回と同じく、日頃の業務の内容や働き方、課題点についてアンケートを実施し、12月に、結果を相模原市長に「相模原市内介護支援専門員の課題に向けた要望書」として提出いたしました。

①地域区分（級地）の変更 ②法定研修費助成の対象範囲拡大 ③予防サービス計画者の担い手不足に対する、相模原市独自の取り組みの構築 ④ケアマネジャーの業務範囲（シャドーワーク撲滅）について上記の4項目についての要望書を提出し、3月に福祉基盤課より回答をいただきました。どれも「今すぐに改善できるものではないが、検討していく」と回答内容でしたが、この活動を通して、行政との関係も少しずつ距離が縮まっているように感じています。今後も引き続き、粘り強く、市に訴えていこうと思っています。



要望事項

1. 地域区分（級地）を変更し、介護報酬のベースアップができるようにしていただきたい

【回答】

介護報酬の地域区分は、人材を確保していく上で重要であり、近隣市で均衡が図られるべきものと考えております。

本市では、これまで、国への要望を行っており、直近では、昨年7月に神奈川県市長会を通じて、地域の実態に応じ適切な区分を設定するよう要望しております。

今後も、機会を捉えて、国への要望を行ってまいります。

(福祉基盤課、介護保険課)

2. キャリアアップに関わらず、研修費用助成の対象範囲を広げていただきたい

【回答】

現在、国の検討会において、介護支援専門員の法定研修に係る時間的・経済的負担が課題の一つとされており、本市としましても、検討会の動向を注視しております。

研修費用助成の対象拡大につきましては、今後、国の動向等も参考にしながら検討してまいります。

3. 予防サービス計画者の担い手を増やすため、相模原市独自の取り組みを構築していただきたい

【回答】

令和6年度の介護報酬改定により、介護予防サービス計画を担う介護予防支援の指定対象が居宅介護支援事業者にも拡大されましたが、居宅介護支援事業者が介護予防支援を行う場合の人員基準につきましては、国により定められており、市において独自に介護支援専門員以外の職員を担い手とするなど、その他の職種へ基準を緩和する取組を行うことは難しいと考えております。

4. ケアマネジャーの業務範囲について各関係機関へ周知徹底しシャドーワークを撲滅していただきたい

【回答】

現在、国の検討会において、ケアマネジャーの業務範囲の整理について議論が進められており、本市としましても、検討会の動向を注視しております。

今後も、国の検討結果を踏まえ、関係機関等への周知方法等について検討してまいります。

(福祉基盤課)

『ケアマネ業務支援・研修委員会』

(◎高下・伊東・山本・黒沼・泉田／事務局担当：川崎・小池)

「介護予防支援及び介護予防マネジメント利用契約・重要事項説明書・個人情報使用同意書」について、利用者・居宅介護支援事業所・地域包括支援センターの三者契約書の様式を検討し作成しました。また、開催は令和7年度になります。また、「ヤングケアラー研修」を計画しております。日時が決まりましたらお知らせを致します。

今後も会員の皆様へ情報をお届けできるように努めて参ります。

『情報発信委員会』

(◎加藤・横山・松下・高橋／事務局担当：内藤)

会報の発行のみではなく、ホームページやブログの更新、LINEの活用など会員の皆様へ幅広い情報を発信して参りました。今後も会員の皆さんに有用な情報を引き続き発信して参ります。※下記の写真、LINE以外はページイメージ図を押すと各ページに飛びますのでご覧ください(*^▽^*)



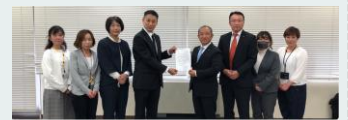
会報46号



当会ホームページ



当会ブログ



当会Facebook



『ブロック再編成委員会』

(◎臼井)

ブロック再編成委員会は、会員数の減少および市の区割り制に基づくエリアの整理のため、令和5年度より活動してまいりました。

会員の皆様には、お忙しい中ブロックの分け方のアンケートや所属ブロックの意向調査にご協力いただき、お陰様で何とか新ブロック体制を組み上げることができました。皆様には心より感謝申し上げます。

この委員会は、当初の予定どおり今年度をもって解散となります。新しいブロック体制が、会の活性化につながることを願っております。ありがとうございました。

『さがみはら介護支援専門員の会事務局』

(黒沢・土田・竹下・内藤・武田・川崎・臼井)

事務局では、会員管理や会計管理、総会や運営委員会のお膳立て、運営委員会前の事務局会議、各委員会のサポートなど、会の下支えとして地味にかつ地道に活動しています。会員数は残念ながら微減となってしまいましたが、今後も会の発展を目指して、取り組んでまいります。

令和6年度 ブロック活動報告

● 1ブロック (相模湖・藤野・津久井・城山・橋本・大沢・田名)

◎樋山・臼井・泉田・内山・黒沢

今年度は、7月にオンラインで、「制度改正から3か月・みんなどうしてる？」という内容で、座談会形式でブロック会を行いました。

R6年度の改定で、「作成しないといけないマニュアル（BCP・高齢者虐待・感染症対策・ハラスメント）」の確認など、各事業所での取り組み等や、「ケアプラン連携システム」についてなど、フリートークで話し合いが出来、盛り上がりました。

また、10月には、1,2ブロック合同で「ヤングケアラー、事例を通してつなげる先を一緒に学びませんか」というテーマで、ブロック会をオンラインで開催しました。事例を通して「内容、問題点、つなげる先」を一緒に考え「ケアラズ カフェモンスター」の代表の方にも入っていただき、貴重な話をさせていただきました。

ブロック会に参加してくださった皆様、ありがとうございました。



● 2ブロック (上溝・横山・星が丘・光が丘)

◎山本・日高・小池・松下

今年度は1ブロックと合同で10月にヤングケアラーについての研修会を実施しました。相模原市南区を中心に活動しているヤングケアラー支援の団体「モンスター」さんにアドバイザーをお願いし、ケアマネが担当しているケースを通してヤングケアラーの実態を見ていくことができました。

ケアマネの担当は主に65歳以上の高齢者ですが、実際にその人たちを支えているのが「ヤングケアラーだった」というケースが実はいくつもあったことが今回の研修の「気づき」として、参加者が得られたのではないかと感じました。研修後の参加者からの感想も「話が分かりやすくて良かった」「自分のケースの支援者が、ヤングケアラーだったのではないかと気づいた」との話が聞かれました。

この研修の後にはヤングケアラーに関しての研修会が各所で開催されており、関心が高い内容であったと感じており、今後も実務に資する話題提供を行うことができればと思います。参加してくださった皆様、研修構築に協力してくださった皆様、ありがとうございました。



事業内容

- I. 民生委員、児童委員、主任児童委員に期待すること(別紙参照)
- II. ヤングケアラーの周知啓発を進めるための寸劇
- III. 事例紹介とヤングケアラーの気持ち
- IV. 大人になってもあなたらしい人生を過ごすために
- V. 厚生労働省「介護保険サービスの支給事務等においてヤングケアラーを把握した場合の対応等について」(令和6年6月12日)
- VI. 相模原市行政の令和6年度の現状
- VII. ビアサロンHaleleaとLineチャットの紹介
- VIII. 質疑応答

お問い合わせ:ケアラズカフェ モンスター

☎042-749-8527 山田まで

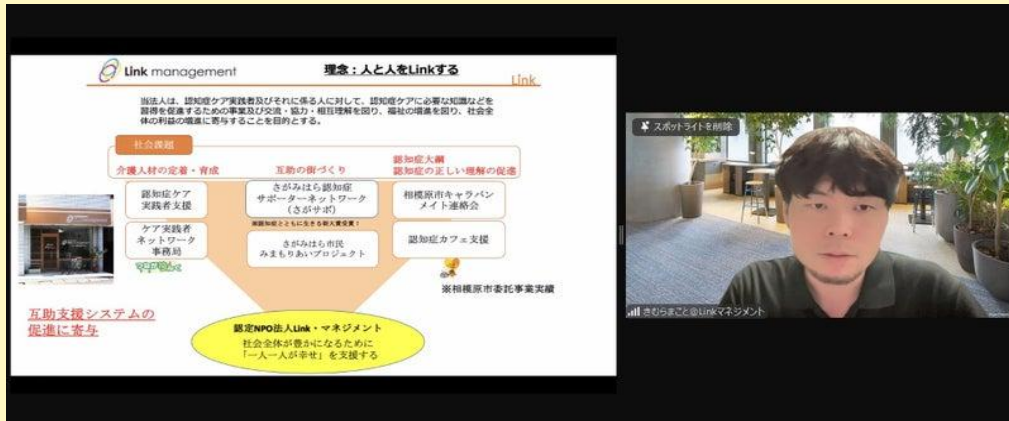
かながわボランティア活動推進基金21
令和5年度かながわボランティア活動奨励賞受賞
生活協同組合バリエーションシステム神奈川
第24回市民活動応援プログラム支援金で作製しました



● 3ブロック (中央・小山・清新)

◎高橋・武田・土田・川崎

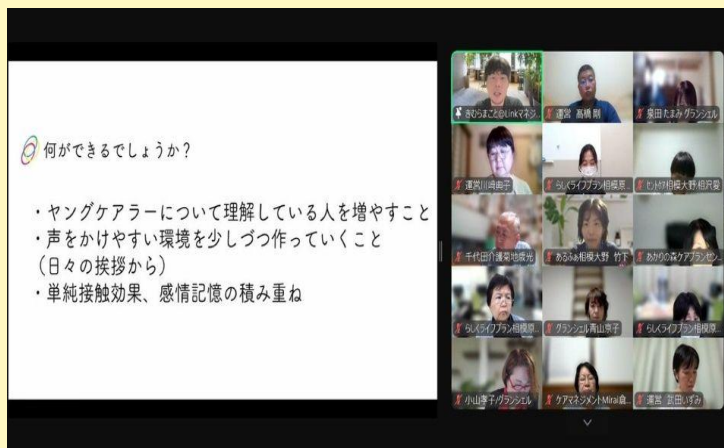
3ブロックは令和6年度、2回ブロック活動を実施しました。
 初回は、昨年の9月にオープン開催のフリー参加で、Link・マネジメント・理事の木村 誠 氏を講師にお招きし「ヤングケアラーを知ろう」を開催しました。
 2回目は、今年の3月に4・5ブロックと合同で、全ての会員様を対象にさがみはら在宅クリニックの西崎 久純 院長をお招きし、「訪問診療医師が話すケアマネに知って欲しいお看取りの実際」を開催しました。
 交流会を通じ、新たな情報を獲得し知識を磨き、会員様と貴重な時間を過ごす事ができました。皆様のお力添えて、今年度の活動を無事に終える事ができました。誠にありがとうございました。



● 4ブロック (大野北・大野中)

◎植田・渡部・高下

4ブロックは所属会員が14名と少なめでしたが定例会を2回開催いたしました。
 1回目は高齢者に多い糖尿病について 訪問看護NORRO渡部さんからの講話と
 2回目は3・5ブロック合同でさがみはら在宅クリニック西崎医院長より お看取りの実際についてZoom研修を行いました。
 令和7年度よりブロック再編成がございましたが 今後も集合やZoomでの研修、専門職との交流を図りたいと思います。ありがとうございました。



● 5ブロック (大野南・東林)

◎黒沼・横山・竹下・内藤・田中

『5ブロック』の活動としては、研修や交流を基本に、年2回活動しています。
 コロナで研修や交流会が縮小しましたが、今後は研修や交流会を通してケアマネの横の繋がりを大事にしていきたいと思っています。会員の皆様の役立つ研修を企画致します。

● 6ブロック (麻溝・相模台・相武台・新磯)

◎加藤・柳下・鍛代・伊東

6ブロックは本年度、3回のブロック会を開催し11月には『事例検討とリフレクション～リフレクションの手法を用いて支援事例を鏡として自分自身を振り返る～』と題して研修会を開催しました。講師は元神奈川県立保健福祉大学教授で、現在は特定非営利活動法人介護の会まつなみ 理事長の峯尾武巳先生。19名のブロック会員が集まり、リフレクションの手法を用いた事例検討を二人一組になり楽しく体験しました。

やはり、私たち対人援助職にとって、コミュニケーション能力を高めることはとても大切なことです。そして、正解のない課題や経験したことのない問題について、対話をして情報を共有し、自ら深く考え、相互に考えを伝え、深めあいつつ合意形成、課題解決をしていくことを学ぶには事例検討が一番だと学びました。



大野南公民館 終活講座

さがみはら介護支援専門員の会として講師依頼を引き受けました!

3/22 (土) 10:00~12:00大野南公民館終活講座に会を代表して内藤氏、松下氏が登壇しました。今回は大野南公民館からの依頼で、一般住民を対象とした介護保険制度についての講座の講師をしてきました。

当日は中高年層を中心に40名以上の出席と公民館長にもご挨拶いただき、盛況の中での講座となりました。

最初に、「終活」という言葉もあったので参加者の「介護予防・フレイル予防のポイント」をお伝えした上で、介護保険制度と利用できるサービスについて講義をしました。なるべく質疑応答の時間を長く取る方向で組み立てたのですが、質問の内容が実践に則した内容が多く、「自分が要介護状態にならないために」「自分が要介護状態になってしまった時のために」「連れ合いや家族が介護状態になったときに」と、出席者全員が自分事として捉えて学んでいたように感じました。出席者が実のある講座だったと感じてもらえれば、と思います。

おまけ:「介護支援専門員の職能団体があるんですね。どんな活動しているんですか?」といったご質問をいただきました。また、「こんなに年寄りがたくさんいるのだから、皆さんのお給料をもっと上げてもらわないといけないと思うの」と言った発言をされた出席者もいらっしゃいました。介護支援専門員への広報はもちろん、一般向けの周知も無理のない範囲でしておく、介護支援専門員に対する、一般の方の理解が進むのかなと感じた一幕でした。



令和7年度 さがみはら介護支援専門員の会 定期総会のお知らせ

日時：令和7年5月17日(土) 13時30分～16時00分頃
(13時より入室可)

会場は設けず、ZOOMを使用するオンライン開催となります。

第一部 《定期総会》

- ・令和6年度活動報告、令和6年度決算報告、令和6年度監査報告
- ・令和7年度活動計画、令和7年度予算計画、役員選出

第二部 《オンライン講演会》

- ・「さあ ペットと共に最期のその時まで
～ペットがもたらす豊かな生活～」

講師：特別養護老人ホーム さくらの里山科
施設長 若山 三千彦 氏



さくらの里山科の理念

ご高齢者様のご自宅となることを目指します。
ご入居者様のご自宅での普通の生活にできるだけ近づけることを目指します